

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人茂原高師保育園
たかし保育園稲毛海岸

1. 管理業務の実施状況

① 保育時間

平日 午前7時～午後8時

土曜 午前7時～午後6時

② 特別保育事業

産休明け保育事業	生後 57 日より
延長保育事業	18：01～20：00
地域交流	園の行事に参加

③ クラス体制および利用状況

めばえ組…0 歳児 ふたば組…1 歳児 しげり組…2 歳児 みのり組…3・4・5 歳児

年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
定員	3	4	5	6	6	6	30
R6 年 4 月	3	7	6	6	6	6	34
R7 年 3 月	6	7	5	6	6	6	36

④ 職員体制

園長	中林瑞穂	ふたば 金子茉代	みのり 清水奏
主任	萱沼莉莎	ふたば 松浦瑠南	栄養士 増田美貴子
副主任	天田優美	しげり 水越愛美	栄養士 飯竹安輝子
めばえ	石山麗	しげり 吉田万智子	フリー 新山亜希子
めばえ	大橋咲月	みのり 田中優美	

2. 年間行事実施状況

誕生会・避難訓練・身体計測・リトミック（月 1 回）・体操（月 2 回）

4 月	新入園児歓迎会 みんなで仲良くなろう 内科健診 お花見
5 月	こどもの日の集い スイーツバイキング
6 月	歯科健診 親子で体を動かそう(運動会)
7 月	たなばたの集い 夏まつり 水あそび
8 月	水あそび
9 月	総合避難訓練 尿検査（3・4 歳児）
10 月	芋ほり（みのり） 園バス（しげり・みのり） 内科健診
11 月	通報訓練 就学児健診（年長） 園バス（みのり）
12 月	クリスマス会 餅つき 発表会 園バス（みのり・しげり）

1 月	初詣(全園児) 初釜(みのり) 年長小学校交流
2 月	節分 味噌づくり スポーツ大会 保育参観・面談 年長小学校交流
3 月	ひな祭り会 徒歩遠足(全園児) 入園説明会 お別れ会 卒園式 進級会(園児のみ) 保育参観・面談
その他	毎月 誕生会 避難訓練 食育 リトミック(みのり) 体育指導(運動遊び)

3. 職員研修実績

日	参加者	研修名
毎月第2：火	中林	園長連絡会議(民間保育協議会)
年間 8 回	中林	保育大会委員(民間保育園協議会)
年間 5 回	萱沼	主任会(民間保育園協議会・千葉市保育協議会)
年間 4 回	増田	栄養士研修
年間 4 回	水越 中林	美浜区会
	全職員	法人内研修 児童虐待について(役所) 感染症対策(役所) 救命救急講習 防犯訓練
参加者	研 修 内 容	
中林瑞穂	幼保指導課 園長・所長研修 千葉市保育協議会 施設長研修 千葉市民間保育園協議会総会 保育振興大会	
中林・増田	千葉市保育協議会総会	
中林・飯竹	千葉市保育協議会全体会	
中林・水越・金子	美浜区会全体会	
中林・萱沼・飯竹	千葉市民間保育園協議会保育大会	
萱沼莉沙	主任保育士研修 千葉市役所(正庁) こども主体の保育を展開するために(幼保指導課)	
水越愛美	全国保育研究大会(奈良) キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援	
増田美貴子	保育と連動した食育(千葉市保育協議会) 保育施設における乳幼児期の食事(千葉市保育協議会)	
金子茉代	不適切保育について(幼保指導課) キャリアアップ研修 幼児教育	
天田優美	障害児保育研修・インクルーシブ保育(幼保指導課) キャリアアップ研修 障害児保育 s	

清水奏	発達心理（幼保指導課） 日々の保育を深めるために(千葉市保育協議会)
松浦瑠南	アタッチメントについて(千葉市民間保育協議会)
石山麗	キャリアアップ研修 障害児研修
大橋咲月	乳幼児期の遊びについて(千葉市民間保育園協議会)
飯竹安輝子	健康で持続的な食環境(千葉市保育協議会) 食品ロス削減推進(消費者庁)

4. 運営費執行状況（決算書）

別紙「決算書 令和6年度（自）令和6年4月1日（至）令和7年3月31日」参照

5. 評価および反省

<保育>

令和6年度は多くの行事や、日々の生活でクラスの枠を超えて交流をする機会がさらに増えました。年齢の違う小さな友だちと工夫して接する姿や、年上の友だちに甘える姿など微笑ましい場面がたくさんありました。

運動会は『親子でからだをうごかそう 2024』と題し、親子で楽しめる内容を今年度も行いました。卒園児や祖父母などたくさんの参加があり、盛り上がりました。

発表会は卒園児やたくさんの保護者に観に来ていただきました。子どもたちと職員で内容を考えて小道具を一緒に作り練習を重ねていく中で力を合わせて協力することや意見を伝えること、最後まで頑張ることなど成長を感じる場面がたくさんありました。

親子講座は、千葉の郷土料理“太巻きずし”を行い、親子で色々な絵の太巻きずしを作り、とても喜ばれました。また、各クラスで食育を栄養士と保育士が相談して行い食への興味を引き出していくことが出来ました。

夏祭りや、クリスマス会などは、地域の方も招いて開催し子どもたちと保護者、職員が交流することを楽しんでいました。

恒例となったスポーツ大会もマラソン・なわとびは、今年度も子どもたちと職員が積極的に練習して寒い季節もたくさん体を動かすことで、食欲も増し体調管理にもつながっていました。

消防署職員や交通安全委員会職員の方に来園いただいたことで、子どもたちは火災について、避難訓練の大切さ、交通ルールについて話を興味津々に聞き交流することを喜んでいました。また、地震から津波を想定した保護者伝達訓練も兼ねた避難訓練を今年度も取り入れ、災害時の連絡方法についての確認おこないました。

<運営について>

0歳児が4月から3名入園し、今年は4月から定員数を上回りました。子どもたちや保護者が安心して過ごせるように保育を行っていきました。若い職員間のコミュニケーションが難しく感じることもあり、休職する職員がいました。

昨年度に続き、物価上昇で食材費等の高騰がありましたが、食材やメニューの工夫をして子どもたちが、満足して笑顔になるようにしました。

<今後の課題>

正職1名採用しました。(新卒1名)保育の状況や、職員間の様子を把握していきましたが、職員間のトラブルが発生し1年目の職員が休職してしまう事態が起きてしまいました。見えないところでトラブルあるので、日頃から職員との対話をより大切にして、働きやすい環境を整えることが大切だと思いました。

自園は園庭が無く戸外に毎日出かけるので、交通ルールや防犯について職員と子どもたちが学ぶ機会をこれからも大切にし、地域の専門機関との連携を密に行う必要性があると感じました。